



中堅社員研修を開催しました！

地方振興部

9月10日（火）に登米合同庁舎で「中堅社員研修」を開催しました。この研修は、登米市内企業の中堅社員等を対象に、風通しのよい職場をつくるためのコミュニケーションやリーダーシップについて学んでいただくことを目的としています。

今年度は経営コンサルティング波多野事務所の波多野ゆか氏を講師にお招きし、「信頼と成果を高めるコミュニケーション～自分も大事に！相手も大事に！～」というテーマで研修を行いました。

講義だけでなくグループワークを多く取り入れた研修内容で、「『相手』を意識したコミュニケーション」のコツについて、実際に体験をしながら学んでいただきました。

参加者からは、「わかりやすい内容で、日頃の会話の中にも生かせる部分がありました。」

「今後は後輩が増えていくので、コミュニケーションが大切だと感じました。」などの感想をいただきました。

地方振興部では、今後も継続的に管内企業の方々を対象にした研修を実施してまいります。



研修の様子

登米懐古館プレオープンイベント＆開館記念式典

地方振興部

9月8日に新たにオープンした登米懐古館の完成・開館を記念し、9月4日と8日に記念行事が行われました。

4日のプレオープンイベントでは、設計者の隈研吾氏と宮城県出身の残間里江子氏による完成記念講演・対談が行われ、約200人が聴講しました。また、8日の開館記念式典では、伝承芸能の披露やテープカットが行われた他、元仙台市博物館長の佐藤憲一氏による記念講演も行われました。

両日とも多くの来場者があり、大盛況となりました。



移転・新築された登米懐古館

登米市のリンゴ生産者が 全国リンゴ研究大会で事例発表！

農業振興部

9月3日、4日に「第61回全国リンゴ研究大会北海道大会」が開催されました。本大会は、西洋リンゴ導入150周年を迎える北海道七飯町において、「歴史に学び、新しい時代の一步を」をテーマに開催されたものです。全国のリンゴ生産者450名が集まり、産地視察など技術の研鑽と交流を深めました。

3日の産地振興の事例発表では、宮城県代表と



事例発表を行う芳賀秀二さん

してJAみやぎ登米りんご生産部会長の芳賀秀二さんが宮城県のリンゴ栽培概要や完熟リンゴの直接販売の取り組み等の果樹経営について発表を行いました。

農業振興部（登米農業改良普及センター）では、生産部会等と連携し、リンゴ生産技術の向上を図るとともに、令和4年に宮城県で開催される全国大会の準備を支援していきます。



産地視察の様子

県総合畜産共進会開催！今年も登米地区が活躍

東部家畜保健衛生所

今年も宮城県総合畜産共進会が各畜種で開催されており、登米地区からの出品家畜が好成績をおさめました。

9月4日から食肉流通公社（米山町）で開催された肉豚の部では、1区で（有）ピッグ夢ファーム（豊里町）が全19セットの中から名誉賞を獲得しました。

みやぎ総合家畜市場（美里町）で9月13日から開催された肉用牛の部では、延べ74頭が出品

され、1区から4区の全ての区で登米市からの出品牛が最優秀賞を受賞しました。また、同じく9月25日に開催された乳用牛の部でも鈴木貴博さん（南方町）が3区で3席に入賞し健闘しました。

肉豚の部、肉用牛の部では、ともに2年連続で団体賞を受賞し、関係者一丸となって出品対策に取り組んできた成果が現れました。



群出品(第4区)で最優秀賞を受賞した登米和牛育種組合



肉用牛の部で団体賞を受賞した登米地区の皆さん

初期型ほ場整備勉強会を開催しています！

農業農村整備部

登米管内では、昨年度に登米地域農業のさらなる発展のため、「登米地域の初期型ほ場整備再生計画」を策定しました。今年度はこの計画に従って活動をし、8月からは標題の勉強会を開催しています。最近では、9月19日と20日に登米公民館にて開催しました。

この勉強会では、被災地等で導入を始めている

「新たな標準区画（2ha区画）」や、登米市が今後2か年で進める予定としている「人・農地プラン」の実質化等を地元の耕作者に情報提供しています。

今後も、登米市、関係土地改良区、JAみやぎ登米及びみやぎ農業振興公社と一体になって、この勉強会を実施していきます。



勉強会の様子①



勉強会の様子②

高校生の林業体験会を開催しました！

林業振興部

7月18日、津山町林業研究会主催で、古川工業高校建築科の1年生30名を対象に、林業体験会（インターンシップ）が開催されました。

当日は、薄曇空と微風という作業しやすい天候に恵まれ、平成28～29年度に植栽したスギ造林地の下刈り作業を実施しました。

生徒達は林業研究会の担当者からの説明を熱心に聞きつつ、下刈り鎌を使い一生懸命作業し、怪我無く無事終了することができました。

秋にはインターンシップの第2回目として、同じメンバーによる間伐体験が予定されています。



説明を熱心に聞く生徒達



一生懸命作業してます

登米市の公衆衛生に貢献した人・団体を表彰

東部保健福祉事務所登米地域事務所

令和元年9月7日（土）に中田農村環境改善センターで「第14回登米市公衆衛生大会」が開かれ、公衆衛生向上に功績があった個人や団体39件（保健所長表彰17件、大会長表彰22件）を表彰しました。

この大会は、公衆衛生思想の普及向上を図り、健康でおいしいのあるまちづくりを推進するため、各地域、各分野で活躍している方々が一堂に会し、他の模範となる団体及び功労者を表彰することで、明日への活動の礎とすることを目的として毎年開催されています。

また、大会の主催は、登米市公衆衛生組合連合会、登米市、宮城県登米保健所、登米保健所管内環境衛生協会、登米保健所管内食品衛生協会です。

今大会では、亀卦川洋一さん（食品衛生・環境衛生活動功労者、東和町）らが宮城県登米保健所長表彰を、石川力雄さん（公衆衛生活動功労者、迫町）らが大会長表彰を受賞しました。

受賞者を代表して、濱田和幸さん（公衆衛生活動功労者、米山町）が謝辞を述べました。



大会開催にあたり挨拶をする鈴木登米保健所長



受賞者への褒状伝達

<登米保健所からのお知らせ>

11月は「みやぎ食育推進月間」です。

～毎月19日は食育の日～

宮城県では、「食育」の取組を推進するため、毎年11月を「みやぎ食育推進月間」と定めています。

食は、生きる上での基本です。

生涯にわたり心身ともに健全で豊かな生活を送るためには、一人一人が自らの食事を考え、食事の楽しさや大切さを学び実践するとともに、家庭・学校・地域などが支え合いながら取り組むことが大切です。

この機会に、多彩で豊富な宮城・登米の食材や地域の食文化など、食の大切さについて考えてみませんか。

野菜を食べよう！あと100g
ベジプラス100キャンペーン展開中！



ロードクリーンキャンペーンを実施しました！

東部土木事務所登米地域事務所

毎年8月は国土交通省が「道路ふれあい月間」と定めています。また、8月10日は「道の日」と制定され、生活に欠かせない身近な社会資本である道路に関心を持っていただくため、全国各地で様々な行事が実施されています。

東部土木事務所登米地域事務所では、8月8日（木）に「ロードクリーンキャンペーン」として、職員18人が国道346号（道の駅米山前）及び主要地方道古川佐沼線（道の駅みなみかた前）のゴミ拾い・除草等を行いました。

このロードクリーンキャンペーンは平成19年より実施されており、今回で11回目の活動となります。当事務所では、道路を安全に使っていただけるよう維持管理を行っていますが、今後も職員自ら行動しながら、地域の皆様とともに良好な道路環境の維持に努めてまいります。

<今年度実施内容>

1 実施箇所

(1) 国道346号

登米市米山町西野地内（道の駅米山前）
両側歩道 約350m

(2) 主要地方道古川佐沼線

登米市南方町新高石浦地内（道の駅みなみかた前）
両側歩道 約650m

2 作業内容

歩道のゴミ拾い、除草、土砂撤去

3 作業時間

令和元年8月8日（木）

午前9時から午前10時30分まで

<当日写真>



令和元年10月発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522